

専修大学社会科学研究所 公開シンポジウム

テーマ：「中国の新常態はどこに向かうのか  
-日本の経験から鑑みて」

開催日：8月10日（木）10:00～15:40

場所：専修大学 向ヶ丘遊園サテライト スタジオA

プログラム

午前の部（10:00-12:00）

基調講演 宮寄晃臣（専修大学）

「日本の高度成長から安定成長へ、安定成長から長期停滞への推移」

午後の部（13:00-15:40）個別議題

1. 環境から見る高度成長から安定成長への移行

報告者 孫文远（南京審計大学） 討論者 佐藤一光（内閣府）

2. 貿易から見る高度成長から安定成長への移行

報告者 刘玉（南京審計大学） 討論者 大橋英夫（専修大学）

3. 所得再分配から見る高度成長から安定成長への移行

報告者 陈怡（南京審計大学） 討論者 柴田弘捷（専修大学）

※報告・質疑は日本語・中国語及び日中通訳付

共催：社研特別研究助成「中国の新常態はどこに向かうのか」

※定員 30 名、参加費無料。参加希望者は事前に専修大学社会科学研究所にメール（shaken@isc.senshu-u.ac.jp）あるいは FAX（044-900-7829）にお名前、連絡先を明記したうえでお申し込みください。

社研事務局

電話：044-911-1089（内線5091）

FAX：044-900-7829

E-mail：shaken@isc.senshu-u.ac.jp